



第九十八号

## 奥田雅楽之一演奏会

メルマガnoichi98号、今月のテーマは「第一回 奥田雅楽之一演奏会」。

今秋、奥田雅楽之一は初の自主公演リサイタルを開催いたします。

チケット発売日は9月2日でございます。

ご来場をお待ち申し上げます！

第一回

# 奥田雅樂之一

## 演奏会

特別出演

○ 富山清琴 (人間国宝)

萩岡松韻

賛助出演

萩岡松柯

岡村慎太郎

菊央雄司

中島靖子

中島一子



2019年10月30日(水)

昼の部:14時開演(13時30分開場)

夜の部:19時開演(18時30分開場)

会場:紀尾井小ホール

チケット:各4千円(自由席) チケット発売開始:9月2日(月)

チケット取り扱い:

【メール】(株)N.Y.C. officeutanoichi@yahoo.co.jp

【FAX】(株)N.Y.C. 03-6277-1192

【電話】(公財)正派邦楽会事務局 03-3268-2965(月-土 10:00~18:00)

後援:(公社)日本三曲協会 公益財団法人伝統文化振興財団 (公財)正派邦楽会 (株)N.Y.C.

本年十月三十日、第一回「奥田雅樂之一演奏会」を開催させて頂く運びとなりました。私にとって初の自主公演リサイタルとなります。

私は幼少より祖母・中島靖子、祖父・唯是震一に手ほどきを受け、青年期に芸の基礎を身につけ、平成十四年二十三歳で「雅樂之一」を名乗りました。以来十七年、諸先輩方から多くの勉強の機会を与えていただき、お陰様で贅沢な環境で勉強を積み重ねて参りました。祖母の言葉を借りると、リサイタルの開催は一人前の演奏家になるために「避けては通れない」ものであり、これまでの成果を発表することが、支えて頂いた方々のご恩に報いることになる、そんな時期が訪れたと思っております。

この度、自主公演開催に至りました理由は二つあります。一つは、今年が四十歳という節目の齢に達したことです。四十歳で初リサイタルに臨むことが早いのか遅いのか分かりませんが、私にとつてのタイミングは四十歳であることは、ずっと思ってきたことです。二つ目の理由は、本年から正派の副家元に任命されたことです。中島雅樂之都来の芸の伝承、という重たい責任を次世代に繋いでいくために、より厳しい環境で勉強し、実績と成果を残すことが求められるのではないかと考えました。

当会には、特別出演として、人間国宝の富山清琴先生、萩岡松韻先生のお力添えを頂けることとなりました。また、賛助出演には芸友の萩岡松柯さん、岡村慎太郎さん、菊央雄司さんをお迎え致します。また、正派宗家中島靖子、三代目家元中島一子のお二方もひと舞台力を貸してくれると言ってくれ、何よりも心強いことです。

地歌箏曲の伝承は「演奏」と「創作」の両輪で歴史を築いてきました。この規範を守り、中島雅樂之都は、古典継承に加え、生涯を通じて自ら創作の道を拓き続けました。私も家の伝統を踏襲する形で、今回は自身の代表作二つ、箏独奏曲《バラード(譚詩曲)》、舞踊曲《木花咲耶姫》

を取り上げます。また、富山先生、萩岡先生と男性三人で大曲《松竹梅》を演奏出来まことは、これまで私が先生方にお習いしてきたことを全力で發揮させていただける、大変幸せな機会だと思っております。

古典のみならず、雅楽之都作品、唯是作品、靖子作品も伝承曲と位置付け、その中に自身の創作活動を織り込んでいくことが私のライフワークであり、「奥田雅楽之一演奏会」開催の目的であると考えております。

以上、自主公演開催に至りました経緯と想いを書かせて頂きました。

チケット発売日は九月二日とさせて頂きます。ご来場頂ければ幸いです。

Utanoichi Okuda Recital



現代家元 中島雅楽之部 愛用琴「京土」

紀尾井小ホール  
[http://www.kioi-hall.or.jp/s\\_hall](http://www.kioi-hall.or.jp/s_hall)  
 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号  
 電話:03-5276-4500 (代表)  
 最寄り駅:  
 四ツ谷駅 (丸の内線・丸の内線・南北線) 徒歩6分  
 麹町駅 2番出口 (有楽町線) 徒歩8分  
 赤坂見附駅 D出口 (銀座線・丸の内線) 徒歩8分  
 永田町駅 7番出口 (半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分

プログラム

〈昼の部〉

主題と変奏 唯是賞一作曲  
 等 奥田雅楽之一

木花咲耶姫 奥田雅楽之一作曲  
 唄 萩岡松河  
 第一等 奥田雅楽之一  
 菊央雄司  
 第二等 岡村慎太郎

松籟譜 中島雅楽之都作曲  
 六段の調 中島靖子  
 松籟譜 奥田雅楽之一

松竹梅 三橋勾当作曲  
 三弦 富山清琴  
 等 萩岡松河  
 等 奥田雅楽之一

〈夜の部〉

バラード(譚詩曲) 奥田雅楽之一作曲  
 等 奥田雅楽之一

木花咲耶姫 奥田雅楽之一作曲  
 唄 萩岡松河  
 第一等 奥田雅楽之一  
 菊央雄司  
 第二等 岡村慎太郎

四段砧 作曲者不詳  
 三弦本手 奥田雅楽之一  
 三弦替手 中島一子

松竹梅 三橋勾当作曲  
 三弦 富山清琴  
 等 萩岡松河  
 等 奥田雅楽之一



Illustration: morimoe

◎あとかぎ◎

音楽関係の方はどうか分からないが、絵の個展を開く前など、精神的に不安定になる人が多い。自分は天才じゃないかと思つた翌日には、作品が実につまらないものに見えてきて落ち込んだり、普段は温厚な人が批評的な意見に血相を変えて反論したかと思うと、ちよつと褒められただけで有頂天になる。俗に言う「恍惚と不安」という状態になる。まるでジェットコースターのように上り下りを繰り返して、へとへとなつて個展当日を迎えることになる。作品を発表したことのない人に分からないかもしれないが、何かを作つて発表するのは精神的にも大変なのだ。

そういう人の気持ちも分かるから、よほど親しい人でもない限り、批判的な意見を述べるのは難しい。今はみな褒めてもらいたがつているが、上の世代は基本的にけなされて育つたから、人を褒めるのがへただ。けなすのは得意でいくらかでも言葉が出て来るのに、褒めようとするときこちなくなつたりもする。人をうまく褒めるのは本当に難しい。上手にネガティブな意見を言うのも難しい。個人的にはこんな時代だからこそ、批判的な意見を言ってくれる人が本当にありがたいと思つている。

グラフィックデザイナー (http://www.1938.jp) みやはらたかお

